

平成24年11月 経営協議会議事録

I. 日 時 平成24年11月30日（金） 14時00分～16時20分

II. 場 所 けやき会館レセプションホール（3階）

III. 出席者 齋藤学長、赤田、犬養、井上、加賀見、黒木、桜田、船橋、
山本、長澤、徳久、嶋津、池田、瀧澤、木庭各委員
（欠席：有馬、佐久間、島田、堀、宮崎各委員）
がざー 来栖、西川各監事

IV. 前回経営協議会議事録について
原案のとおり承認された。

V. 審議事項（○：学外委員、◎：学内委員）

1. 平成25年度医学部入学定員増について

学長から、平成25年度医学部入学定員増について審議願いたい旨提案があった後、山本理事から資料に基づき説明があり、以下の質疑応答を経て、審議の結果、承認された。

- 地域枠はトータルで何名か。出身地域の制限などはあるのか。
- ◎ 地域枠は20名。後に千葉県内に勤務するという制限はあるが、大学院進学や留学を認めるなど、自由度をもって運用している。
- 高齢化社会になり地域医療のニーズが高まると総合医療が重要になると思うが、総合医を目指すようなカリキュラムを組むなどの教育環境を整えるべきではないか。また、地域医療従事者が最新の医療技術を学べるようなサポートシステムも必要ではないか。
- ◎ 地域医療のための人材を確保する際には、適性に合わせて病院を考えていくなど、足かせを付けて個々の能力を潰さないよう柔軟に対応している。
また、附属病院では地域医療に対応する部を設け、経験10年程度の医師を再教育する取り組みを始めている。

2. 国立大学法人千葉大学就業規則等の一部改正（案）について

学長から、国立大学法人千葉大学就業規則等の一部改正（案）について審議願いたい旨提案があった後、池田理事から資料に基づき説明があり、以下の質疑応答を経て、審議の結果、承認された。

- 国家公務員に適用される退職金制度の改正が、何を根拠に独立行政法人や国立大学法人にも適用されるのか。
- ◎ 閣議決定により、独立行政法人等の職員の退職手当については、国家公務員の退職手当の見直しの動向に応じて通則法等の趣旨を踏まえつつ、今般の国家

公務員の退職手当制度の改正に準じて必要な措置を講じるよう要請がなされているところである。

VI. 報告事項

1. 平成25年度の概算要求について

池田理事から、平成25年度の概算要求について、資料に基づき報告があった。

- 大学の教職員が民間企業の社外役員や他の病院の職員を兼務するようなことについてのルールはあるのか。
- ◎ 本務に影響が出ない範囲での兼職のルールがある。
- 外部資金の調達はどのような状況か。
- ◎ 平成24年度予算でみると、大学運営にかかる620億円の内、運営費交付金は179億円。その他に病院収入はあるが、外部資金をいかに調達するかが、財政体質の強化に向けた重要な課題となっている。
- ◎ 運営費交付金179億円の規模に対し外部資金はどの程度調達できているのか。
- 千葉大学は、病院収入もあり、ある程度外部資金もいただいております、自己資金での運営が比較的できている大学という位置付けにはなるが、運営費交付金の179億円を肩代わりできるほど外部資金を集められるという状況には今のところない。外部資金は補助金等を含め60億円見当になるが、これを70億円とか80億円の規模にできれば、状況はかなり変わってくると考える。

2. 国立大学のミッションの再定義について

池田理事から、国立大学のミッションの再定義について、資料に基づき報告があった。

- 文部科学省からは、大学を研究大学と教育大学とか、教員養成型というように、ミッション別に分類するという方向性はでているのか。
- ◎ 今のところ出されていないが、国立大学協会でもいろいろと検討を進めており、国立大学として何らかの打ち出しをしなくてはどの気運はあるように思う。大学として、医学系、教員養成系、工学系という象徴的な3分野について、きちんとミッションの再定義の観点から説明をしなくてはならないこととなっていると考えている。

3. 平成23年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

山本理事から、平成23年度に係る業務の実績に関する評価の結果について、資料に基づき報告があった。

- 平成23年度に係る業務の実績に関する評価の結果（通知）によると、女性教員の比率が評価されている例が示されているが、千葉大学の場合、女性教員の比率はどの程度なのか。

- ◎ 女性教員の比率は18%を超えており、これは看護学部がある面があるが、理系女性教員キャリア支援の取り組みの効果もあると考えている。
4. 平成24年司法試験の結果について
長澤理事から、平成24年司法試験の結果について、資料に基づき報告があった。
 5. 平成25年度千葉大学個別学力検査等の日程について
長澤理事から、平成25年度千葉大学個別学力検査等の日程について、資料に基づき報告があった。
 - 前期試験と後期試験の定員配分はどのような関係か。
 - ◎ 平成24年度入試は、前期が1,627名であり後期が439名であった。
 - 工学部の定員配分はいかがか。
 - ◎ 前期が455名、後期が165名となっている。
 - 工学部の学科の中で受験倍率が2倍を切る学科はあるのか。
 - ◎ 全ての学科で2倍を上回っている。
 - 工学部の応募学生を増やすためには、10の学科毎に試験を行うのではなく大きな分け方で行った方が良いのではないか。
 - ◎ 教育をベースとしたコース選択という方向で試験を見直す議論が始まっている。
 6. 平成24年度グローバル人材育成推進事業等の採択について
長澤理事から、平成24年度グローバル人材育成推進事業等の採択について、資料に基づき報告があった。
 7. 平成24年度博士課程教育リーディングプログラムの採択について
徳久理事から、平成24年度博士課程教育リーディングプログラムの採択について、資料に基づき報告があった。
 8. 平成24年度科学研究費助成事業交付内定状況について
徳久理事から、平成24年度科学研究費助成事業交付内定状況について、資料に基づき報告があった。
 - 学内で科学研究費の獲得を支援する体制はどのようになっているか。
 - ◎ 5年以上前から、実績のある教員の協力により申請書を査読するシステムを築いており、徐々に効果を上げている。査読済みの申請がそうでない申請に比べどの程度通りやすくなっているかという資料も作成し参考としている。
 9. 学内施設の整備状況について
施設環境部長から、学内施設の整備状況について、資料に基づき報告があった。

以上